

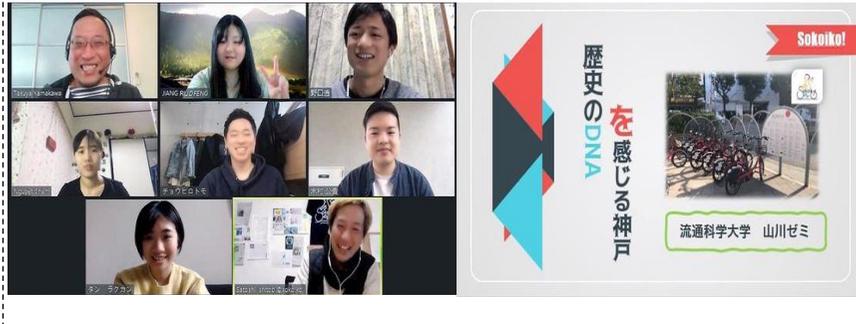
教員名

山川 拓也

企画名

㈱mintとの産学連携による観光プログラムのルート開発・提案

商品開発型
地域活性化型
企業



企画・活動概要

広島市内において訪日外国人向け自転車ツアー『sokoiko!』の実施・運営を行っている㈱mint(広島市東区、石飛聡司社長)との産学連携により、神戸市中心部での『sokoiko!』の新規ルート企画ならびに提案をおこなう。

2019年の夏、株式会社mint代表取締役社長の石飛聡司氏と意見交換のために広島市内で面会した際に、今後の展開として神戸市内における『sokoiko!』事業化の可能性に関する具体的な検討を進めていきたいとの話を伺ったことをきっかけに、本学との産学連携による観光プログラム開発への協力について打診があった。

産学連携にあたっては、先方より息の長い協力関係を構築したいとの意向が示されたことから、研究演習Ⅰと研究演習Ⅱに跨るような形でプロジェクトを遂行することを確認した。

当初計画では、研究演習Ⅰで実際のプロダクトを体験する広島研修と神戸での事前フィールドワークの実施、研究演習Ⅱにて具体的な提案内容を検討することとしていたが、新型コロナウイルスの影響を受け、神戸での事前フィールドワークを延期し、最終的な企画提案と合わせて研究演習Ⅱでの取り組みとした。

経緯・背景・目的

今回の社会共創案件の相手となる株式会社mintとの関係は、小職が広島文教女子大学に奉職していた時にさかのぼる。株式会社mintが展開している外国人観光客向けの町めぐりサイクリングツアー(『sokoiko!』)は、ガイドブックに掲載されている観光地だけでなく、地元の人しか知らないような広島ならではの場所を地元ガイドとともに自転車で回る地域体験プランである。広島の街並み、川や山の景色、そこに住む地元の人々といった生の空気を体感してもらい、広島の魅力を発信していくことで地域の活性化につなげていくことを目指している。また、外国人観光客への対応を通じた国際交流の展開といった様々な可能性が広がる取り組みであることから、ソーシャルビジネスとしての側面を有している。これらに対する研究上の関心から、かねてより意見交換などの機会を設け、交流を重ねてきた。尚、今回の活動目的は、ゼミの主要テーマである観光商品マーケティングの学修を深化させることである。

取り組む課題

株式会社mintの事業コンセプト、想定する顧客ターゲット、商品としての条件等を的確に把握して、神戸での「コベリン(kobelin)」を活用した『sokoiko!』の新ルートを企画し、株式会社mintの石飛社長に対して提案すること。(「コベリン」とは・・・神戸市中心部の複数のサイクルポートで自転車を自由に借りたり返したりできるシステム)

本学(学生)の役割

神戸市内でのフィールドワークをもとに、国内外の観光客に受け入れられるような『sokoiko!』の新ルートを検討し、提案する。



活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

研究演習Ⅱの前期では、個人単位でアイデアをパワポにまとめてもらい、オンラインでのプレゼンを実施した。その中から、「神戸開港から続く、多文化共生の歴史を巡る自転車ツアー」のアイデアを具体化させることとした。

研究演習Ⅱの後期に入り、11月下旬に第一回目のフィールドワークを実施し、改善点などの検証をおこなった。その後、2月下旬に第二回目のフィールドワークによって改善内容の確認を行い、3月中旬に㈱mint石飛社長に最終提案プレゼンをオンライン上で行った。

今回の活動において、コロナ禍での様々な制約を受けながらも、各々のゼミ生がチームにどう貢献するのか考え、自らの役割を果たす経験を積み上げることができた点については、指導教員として評価に値するものとする。また、プロジェクトへの取り組みを通して学生達は、「論理的思考」「創造」「自主自立」「チーム協働」に関する能力を修養することができた。

指導教員および関係者の紹介



人間社会学部
観光学科
准教授
山川 拓也



株式会社 mint
代表取締役社長
石飛 聡司 様

平成26年に広島市で創業し、平成29年から外国人観光客向けの町めぐりサイクリング『sokoiko!』を展開している。